



エントランス。外構は未施工。ダイニングから玄関土間・和室方向を見る。左手上部に吹抜け。



ダイニング・キッチン。キッチン奥に納戸+食品庫。軽快な鉄骨階段。12帖の和室。床の間と床漆。漆喰塗壁と杉目目の天井。



仙台市宮城野区、国道に直結する通り沿いに建つ住宅です。100坪超の敷地に、ゆったりと建つ現代和風住宅です。1階は、ガレージ・LDK・水廻りと、玄関土間のある12帖の比較的本格的な和室で構成されます。2階は個室・図書スペース・予備室と、小屋裏空間も活用する収納スペース等で構成されます。玄関土間は住宅の大きな特徴となっており、庭・LD・和室と一体になり、それぞれを繋ぐ役割も担います。南東の角には小さいながらも吹抜けがあり、吹抜けに面した予備室は、開いても閉いても、多目的に使用可能です。住宅全体に統一された色彩計画で、「和」で落ち着いた雰囲気を出しながらも、LDK回りはモダンな要素も取り入れ、「和」と「モダン」がバランスよく調和する空間になったのではないかと思います。



リビング・ダイニング。上部は吹抜け。階段前からガレージへ。LDK。床はオーク三層フローリング天然オイル仕上げ、壁は漆喰塗壁。障子を開放すると土間・和室と一体になる。



2階個室から吹抜けを見る。右手はバルコニー。



2階図書スペース。造り付けの本棚が並ぶ。

■特集 "宮城野の現代和風"

>>2013年

皆さんこんにちは。小野です。2013年も、いよいよ終わりに近づいてきました。一年が過ぎるのが、もの凄く早く感じます。それだけ充実した時間を過ごさせてもらいました。それでも、やりたいことはまだまだ消化しきれません。その中から本当にやらねばならないことを見極めて、精進していきたいと思う今日この頃です。さて、今年も秋がとても短く感じられました。気付くと、街はあつという間にクリスマスモード色です。ということで、1/100の世界シリーズ・・・今年のテーマはクリスマスです！サンタさんのシルエットは何だかほっこりしますね(笑)そろそろ、部屋に沢山ある模型やら何やら…整理しないと大変な状況であります。年末の掃除は大がかりになりそうです。がんばります。それでは、皆様良い年越しをお過ごし下さい。



>>TOYO KITCHEN CORE (コア)

こんにちは。菅原です。今回は設備機器をご紹介します。「宮城野の現代和風」で使用していますこちらのキッチンはトヨーキッチンのCORE(コア)というシリーズです。ステンレスを生かしたシャープなデザインが特徴的で、「家具のようなキッチン」という印象をうけました。床から浮かせるようなデザインにするため、キッチンを支える脚は細く、本数も非常に少ないです。さらに、レンジフードや水栓金具などのディテールもこだわっており、どの角度から見ても綺麗なキッチンです。ちなみに水栓が2つありますが、給水と給湯に分かれています。シンクの使い方も変わってきていて、ただ広だけでなく、力作業のしやすさや水切り、汚れ物の目隠しなど様々な用途で使用できるようにしています。さらに引き出しだけで一坪ほどの大容量収納空間がとれています。デザイン性、機能性にも優れているなんて、、、とっても魅力的です！

>> 編集後記

みなさん、こんにちは。12月中旬になるようとしています。前回、11月7日にニュースレターを配信した翌週、いきなり冬になってしまい何日が雪の日がありました。寒波が来る事はわかっていたのですが、11月上旬ですそれほど雪が積もるとは思ってもおらず、結構慌ててしまいました。スタッドレスは新調するつもりだったのですが、そんな状況でしたので一気に需要が集中し、「これにしよう」と思ったタイヤもありましたが、もはや選択の余地無しという感じで唯一サイズのあるモノを購入しました。需要があり過ぎて売ってないモノがなくて、メーカーさんもどかしでしょうね。さらにその後、11月下旬は「秋田県省エネ地域リーダー研修会」のため盛岡へ。今年10月1日に改正省エネルギー基準が施行され、省エネ基準自体が大きく変わりました。従来の外皮の断熱性能に加えて、設備機器のエネルギー効率等を考慮した一次エネルギー消費量の基準も設けられました。今回は施工技術者向けの講習を担当しましたが、今回は設計者向けの講習を担当します。全国的に開催されますので、設計者の方は是非受講していただきたいと思います。さて、来る2014年も、皆様にとりましてよいお年でありませう。それでは次回もどうぞお楽しみに。(1月のニュースレターは第三木曜日の1月16日とさせていただきます。)

Media



住宅雑誌リプラン 2014年冬春号 臨時増刊『薪ストーブ・ペレットストーブで、冬を楽しむ。』に、St-House と Sa-house Remodeling が掲載されました。

現在書店・コンビニ等で発売中ですので、見かけましたらご覧になって下さい。

このところ、薪ストーブ事例も多くなってきました。今年完成した住宅で薪ストーブ事例が2つ、現在施工中が1つ、ペレットストーブ事例が1つです。薪ストーブやペレットストーブをお考えの方・興味をお持ちの方は、是非ご相談下さい。

お知らせ

□秋田県住宅省エネルギー設計技術者講習会
改正省エネ基準に適合した住宅をつくるためには、断熱施工技術加えて、意匠設計から設備設計までトータルプランニングで取り組むことが大切です。本講習会では、地域の木造住宅生産を担う設計者等を主な対象として、断熱等の外皮性能に関わる設計ノウハウと施工技術の重要性設備における省エネ化のための基礎知識を習得し、改正省エネ基準に基づく計算方法の解説と演習を行います。

私は12月25日(水)の講習を担当いたします。詳しくはこちらをご覧ください。



ニュースレター
「建築家の日常・非日常」
発行責任者：加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所
仙台オフィス
TEL: 022-739-8931 FAX: 022-739-8932
秋田オフィス
TEL: 018-831-4315 FAX: 018-831-4316
HP: <http://www.issei-design.com/>
Blog: <http://www.issei-design.com/blog/>
Mail: info@issei-design.com



そんな、いきなり冬になった日の角館平福記念美術館。雪の上にイチヨウの落ち葉が敷き詰められ、白と黄色のコントラストがきれいでした。何故そんな所へ？